

令和3年度第3回(第218回)隠岐の島町教育委員会会議録

1. 開催日時 令和3年6月29日午前9時30分
2. 開催場所 隠岐の島町役場 3階 303会議室
3. 出席委員 教育長 野津 浩一
教育委員 野津 幸恵
教育委員 山下 豊範
教育委員 常 角 敏
4. 欠席委員 教育委員 谷田 一子
5. その他の出席者 総務学校教育課長 吉田 隆
社会教育課長 野津 千秋
中央公民館長 金坂 賢一
総務学校教育課長補佐 中村 恒一
6. 開会宣言 事務局職員が出席者及び資料の確認をした後、教育長は開会を宣言した。
7. 教育長報告要旨 教育長は前回の教育委員会の会議から本日までの主な事項を報告した。
－報告要旨－
 - 5月29日、島後小体連陸上競技大会が隠岐高校で開催された。雨も心配されたが関係者の努力で無事行われた。小規模校の児童も活躍し大変感動した。また、好記録も生まれている。
 - 6月17日～25日にかけて隠岐の島町議会定例会が開催され、新たな議員6名が入って初めての定例会で今までとまた違った雰囲気であった。私も英語教育について一般質問をいただいた。後から報告したい。
 - 6月21日、学校給食センター運営委員会を開催し、数日間給食を中止することについて意見を伺った。後から課長より報告があると思う。
8. 議 事
【議第1号】 令和3年度隠岐の島町一般会計補正予算(第3号)について
 - 「令和3年度隠岐の島町一般会計補正予算(第3号)について」、事務局職員の説明の後、審議した。－説明要旨－

(総務学校教育課長) 今回、小中学校一般管理運営事業の2件の修繕費について、7月21日に開催される臨時議会に上程したい。急を要するため既定予算で先に対応をし、補正するものである。

有木小学校のバックネットフェンスについては、他県で防球ネットの倒壊による死亡事故があったため、町内小中学校を調査したところ有木小学校で腐食等があり危険な状態であったため撤去するも

のですでに対応済みである。五箇中学校の消火ポンプについては、漏水があるため早急に取替えをするものである。

－ 質疑応答 －

(常角教育委員) 小学校一般管理運営事業に補正前の修繕費に 4,034 千円とあるのは何の予算か。

(総務学校教育課長) 一般管理運営事業全体の修繕費の予算である。

(常角教育委員) 有木小学校は、バックネットを取ったあと、通常のグラウンド周辺のフェンスはどうなるのか。

(総務学校教育課長) それはそのまま残っている。

－ 審議結果 －

○ 審議の後、全員の挙手により議第1号について原案のとおり議決した。

【議第2号】 隠岐の島町立小中学校規模適正化検討委員会設置要綱の一部改正について

○ 「隠岐の島町立小中学校規模適正化検討委員会設置要綱の一部改正について」、事務局職員の説明の後、審議した。

－ 説明要旨 －

(総務学校教育課長) 小中学校規模適正化基本計画の見直しに今年度取り組んでいくが、検討委員会の設置要綱を確認したところ、第3条の委員の任期が切れていたため、令和4年3月31日までに延ばして対応していく。

－ 質疑応答 －

(常角教育委員) 9ヶ月間で任期が終わり、その後再任するということか。

(総務学校教育課長) 今年度で計画の見直しを行いたいと思っている。新たに必要となればそのときに任命させていただく。

(教育長) 10年間の計画であり、5年たってどうであったかの確認をする会議と考えている。たくさん意見があれば年度内で終わらないことも考えられる。

(常角教育委員) 知夫、西ノ島で小中一貫校となっているが五箇や都万の見通しは、どうなっているのか。

(総務学校教育課長) 今回の見直しでも検討していくが、校舎のことなど財政的な面や児童生徒の数などから総合的に考えていきたい。10年間は統廃合しないという方針はあるが、策定当時との整合性もどうかといった課題も出てきている。

(教育長) 有木小学校において、当時の児童数の推計より大幅に減となっており、当時と人の動きが大きく違っている。

それから、小中一貫校について、意見があれば伺いたい。

(常角教育委員) 布施小中学校で併設校であった。当時の校長が一貫教育をするということで、中学校の先生が小学校に授業に行ったりと小学3、4年生から準教科担任制度をし、専門の教員に教わっていた。学習面の充実、学校行事の縦割り、全校朝会も一緒にすることで小学生が中学生の姿を見て自分の将来のモデルとなる。逆に中学生も一生懸命な姿を見せる。マイナス面はほとんどなかったと思っている。

(野津教育委員) 布施の小中学校の職員室を一つにしてやっておられた。小規模な中学校では、全教科専門教員が揃わない。3年間、音楽や美術など専門の教員に教わるができないのは子ども

にとっては不利益となる。一貫校になれば免許のある小学校の教員が中学校の授業をやっていくことで、子どもにとってはメリットになる。知夫、西ノ島の状況がどうかしっかり検証しておく必要がある。

(常角教育委員) 退職前に西ノ島に行ったがせっかく同じ校舎となったのに、「ここから先、中学生は入るな」とかあったので、そこの考え方は違うと感じた。異世代交流があることなどがいいこと。その後、どう改善したかはわからない。

(山下教育委員) 例えば、五箇が小中一貫校になったとき、部活動の校区外のルールをどうするのか。

(教育長) 中学校の部活が学校を決める大きな材料になっており、せっかく一貫校になっても違う中学校に行くことも考えられ、そこを検討していく必要がある。

－ 審議結果 －

○ 審議の後、全員の挙手により議第2号について原案のとおり議決した。

9. そ の 他

【令和3年度第4回教育委員会の開催日時について】

○令和3年度第4回、来月7月の教育委員会の会議については、事務局職員の提案に異議がなかったため、7月27日火曜日午前9時30分に隠岐の島町役場会議室で開催することとした。

【議事録の確認について】

○令和3年度第2回教育委員会会議録について、出席委員全員により確認を行った。

10. 閉 会 宣 言 教育長は閉会を宣言した。

11. 閉 会 日 時 令和3年6月29日午前9時57分

12. 会議録作成者 総務係 中村恒一

署名日 令和3年7月27日

隠岐の島町教育委員会 教育長 野津 浩一